

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	05	財産管理費
大事業	001	庁舎管理事業			中事業	06	庁舎等施設整備事業		
小事業	01	庁舎等施設整備事業（みくに市民センター）			02	庁舎等施設整備事業（本庁舎）		他 事業	

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり		所管部局	財務部
	基本計画	1-2	効率的な行財政運営の推進			庁舎整備課
旧総合戦略	政策パッケージ	5	都市基盤整備			
	施策	5-4	公共施設の効率的な維持管理			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業		
根拠法令	無					
根拠例規	無					
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】  
現在、いくつかの建物に分散している本庁舎機能を1か所に集約し、庁舎の耐震性と安全性を高め、防災の拠点としての機能強化を図りながら、市民が利用しやすく職員が働きやすい環境を整える。

【事業の概要】

- ◆ 本庁舎建設事業
  - ・ 本庁舎整備事業に係る経費
    - 委託料 14,142 千円
      - 工事監理業務 13,219 千円
      - 電波障害調査業務 184 千円
      - 議会フロア等運搬業務 739 千円
    - 工事請負費 1,326,934 千円
      - 坂井市本庁舎新築工事（建築） 1,108,080 千円
      - 坂井市本庁舎改修工事（建築） 116,640 千円
      - 坂井市本庁舎建設工事（電気） 53,460 千円
      - 坂井市本庁舎建設工事（機械） 21,384 千円
      - 坂井市庁舎西館等解体工事 24,397 千円
      - 地中埋設障害撤去工事 1,620 千円
      - 議会フロア電話移設・配線工事 924 千円
      - 仮会計課情報機器移設・配線工事 429 千円
    - 負担金、補助及び交付金 265 千円
      - 上下水道加入者負担金 265 千円

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略記載事項	・簡素で効率的な組織体制の確立や事務事業の見直しを行うとともに、新庁舎建設の工期内完了を目指し、市民サービスの向上に寄与します。
-----------	------------------------------------------------------------------

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	1,341,341	108,934	1,559,893	1,232,407
	人件費	33,540	26,740	28,028	6,800
	総事業費	1,374,881	135,674	1,587,921	1,239,207
人員	正職員	5.00 人	4.00 人	4.00 人	1.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	5.00 人	4.00 人	4.00 人	1.00 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	1,241,200	94,600	1,347,400	1,146,600
	一般財源	133,681	41,074	240,521	92,607

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	みくに市民センター建設工事	%	目標	0	0	10	20	50
			実績	0	0	10	20	50
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
独自指標	指標の説明		完成を100%としたときの各年度の進捗率					
指標	本庁舎整備推進基本計画書の策定	%	目標	0	0	0	0	100
			実績	0	0	0	0	100
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
独自指標	指標の説明		完成を100%としたときの各年度の進捗率					
指標	本庁舎整備推進基本設計・実施設計の実施	%	目標	0	0	60	40	0
			実績	0	0	60	40	0
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0
独自指標	指標の説明		完成を100%としたときの各年度の進捗率					
指標	本庁舎整備推進建設工事の実施	%	目標	70	30	0	0	0
			実績	0	30	0	0	0
			達成率(%)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
独自指標	指標の説明		完成を100%としたときの各年度の進捗率					
指標に基づく評価	全職員が庁舎整備に対する意識を高く持っている結果、概ね目標を達成しており、引き続き庁舎整備の工期内完成及び備品整備・引越し作業等のスムーズな移行・完了を目指して取り組んでいきます。							

6.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
成果と改善点	<p>本庁舎整備推進事業は、市民代表によるワークショップや各課の要望等を取り入れた基本計画・基本設計を踏まえて、平成30年度は工事の実施設計を行い、令和元年度は工事に着手した。増築棟新築工事では躯体工事および外装工事を完了し、既存庁舎改修工事では議会フロア・会計課改修工事を完了しました。工事を進めていくうえで、実施設計の内容に固執することなく、各課の要望をできるだけ対応するように設計変更を行い、より市民や職員が使いやすい庁舎の整備に努めました。</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	完了
方向性の理由	<p>新庁舎整備では、既存本庁舎の耐震性の向上や本庁機能分散解消、会議室等の不足解消、来庁者駐車場の充足等の改善を図ります（令和2年度完了）。また、本庁舎整備に併せて利用者目線で施設の構造、配置計画を行い、利用の多い窓口をアトリウムを介して配置し、ワンストップサービスの提供を目指します。</p>